

災害時の安否確認

災害時、いちばん心配になるのが家族や友人の安否です。災害直後は電話などがつながりにくくなります。家族や友人と連絡をとるさまざまな方法をおぼえて具体的な連絡方法を決めておきましょう。

災害用伝言ダイヤル「171」を使う

地震などの災害の発生により、被災地に対する電話がつながりにくい状況になった場合に利用できます。

伝言を残す(録音)

伝言を聞く(再生)

「171」にダイヤルする

「1」を押す

「2」を押す

自宅や携帯電話などの電話番号を入力する
(XXX)XXX-XXXX

伝言を聞きたい電話番号を入力する
(XXX)XXX-XXXX

「1」を押す

「1」を押す

「録音」する(30秒以内)

「再生」が始まる

「9」を押す

●「災害用伝言ダイヤル171」や携帯電話の「災害用伝言板」は、毎月1日、15日、防災週間(8月30日から9月5日まで)、防災とボランティア週間(1月15日から21日まで)などに体験利用が可能です。

携帯電話・スマートフォンの「災害用伝言板」を利用する

地震などの災害が発生した場合に、携帯電話各社のポータルサイトに「災害用伝言板」が開設されます。

伝言を残す(登録)

伝言を読む(確認)

「公式メニューや専用アプリの災害用伝言板」にアクセス

「登録」を選ぶ

「確認」を選ぶ

伝えたい項目を選ぶ
(伝えたいことを書き込むこともできます)

安否確認したい相手の携帯電話番号を入力する
(XXX)XXX-XXXX

その画面で「登録」を選ぶ

その画面で「検索」を選ぶ

伝言の登録が完了

伝言の検索結果が表示

東日本大震災では、携帯電話のメールやEメールなどによる連絡は音声通話よりもつながりやすかったといわれています。LINE(ライン)やFacebook(フェイスブック)、X(エックス、旧ツイッター)などのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)は安否確認に活用できるので、家族や友人とともに普段から使い慣れておくと、いざというとき役立ちます。

わが家の防災メモ

あらかじめ記入しておきましょう。

火事・救急 119 番

警察 110 番

災害用伝言ダイヤル 171 番

緊急連絡先

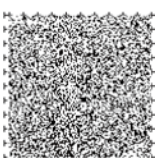
連絡先	電話番号	連絡先	電話番号

家族・親せきの緊急連絡先

連絡先	電話番号(勤務先・学校)	住所	メモ

わが家にないと困るもの

品名	点検日記入欄	品名	点検日記入欄
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	



環境に配慮し、植物油インキを使用しています



禁無断転載©東京法規出版

令和7年3月作成